

## 農林技術センター演習林報告投稿要領

1. 農林技術センター演習林報告に投稿する場合は、「農林技術センター演習林報告編集委員会内規」に規定するもののほかこの要領にしたがう。
  2. 原稿の採否は編集委員会が決定する。
  3. 和文原稿は400字詰原稿用紙（A 4 横書き）あるいはワードプロセッサなどを用いて作成した活字体の原稿（A 4 判で横30字×縦20行に整えたもの）とし、ひらがな左書き、現代かなづかいとし、できるだけ当用漢字を用いる。英文原稿は、厚めの用紙にタイプライターで1行おきに打つ。
  4. 原稿の形式は次のようにする。

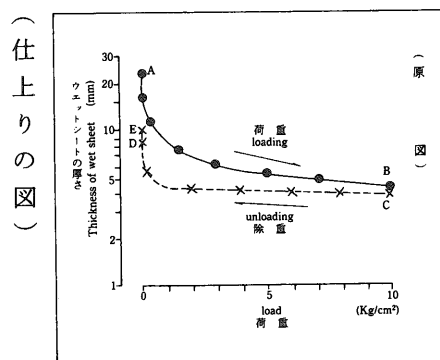
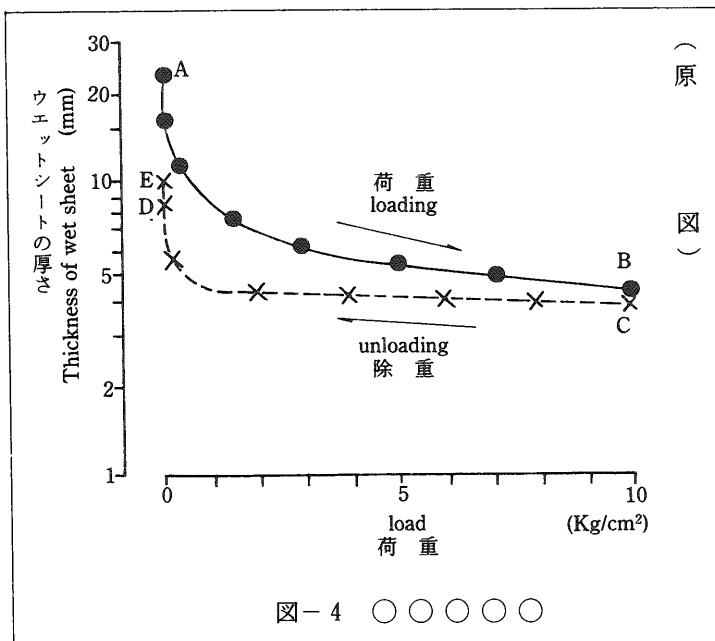
和文論文の場合——1 表題. 2 著者名. 3 欧文表題. 4 著者のフルネーム（ローマ字書き）. 5 論文目次. 6 本文. 7 引用文献. 8 英文要旨 (Summary)……論文のみ

英文論文の場合——1 表題. 2 著者のフルネーム（ローマ字）. 3 和文表題. 4 邦語著者名. 5 論文目次. 6 本文. 7 引用文献. 8 和文要旨. 尚著者に関して特記する必要がある場合は注記とする。
  5. 引用文献はアルファベット順に記載する。本文中での引用はアルファベット順で記載した通し番号で（1）,（2, 3）のように引用する。ただし、該当人名に（年号）あるいは事項に（人名, 年号）をつけて引用してもよい。同一人名で同一年号の場合は年号のあとに発表順に a, b, c をつける。誌名の略記法は和文の場合は慣例により、欧文の場合は, Forestry Abstracts (1972年以前) にならう。引用文献の巻, 号については、巻の通しページがある場合は巻（太字）のみとし（例 1, 5）, ないときは、巻（太字）, 号（カッコとじの細字）を併記する（例 4）。また、号のみの場合は号を太字で示す（例 2）。単行本の場合は総ページもしくは引用ページを記載する。（例 3）。
- 例（1）橋詰隼人・岡田泰久（1970）林木の交配に関する基礎的研究（Ⅲ）スギの花粉の発育と発芽. 日林誌 **52**: 112~119.
- （2）小林享夫（1970）日本産ディアポルテ菌科（胴枯病菌科）菌類の分類学的研究. 林試研報 **226**: 1~242.
- （3）草下正夫・岡上正夫・松井光瑤（1970）亜高山帯の造林技術. 183 pp, 創文, 東京.
- （4）真下育夫（1973）森林土壌の土色と炭素含量. 森林立地 **14**（2）: 24~28.
- （5）YAMAMOTO, N. and SASAKI, S. (1976) Electron microscope study on polysome formation during pine seed germination. J. Jpn. For. Soc. **58**: 65~66.
6. 生物の和名, 外来語, 外国の地名および人名（原語によらない場合）は、かたかなで、学名はイタリック, 欧語の人名はスモールキャピタルを用いる。

字体は次の例により下線（赤）で指定する。

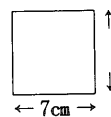
イタリック	<u>ABCDE</u>	<i>abcde</i>
スモールキャピタル	<u>ABCDE</u>	ABCDE
フルキャピタル	<u>ABCDE</u>	ABCDE
太字フルキャピタル	<u>ABCDE</u>	<b>ABCDE</b>
太字イタリック	<u>ABCDE</u>	<b><i>ABCDE</i></b>

7. 数字は算用数字を用いる。単位は略字により、ピリオドはつけない。
8. 図、表、写真は別紙とし、それぞれ通し番号（図－1，表－1，写真－1）をつけ，そう入箇所を示すため，本文中該当位置の右欄外に番号を朱記し，原稿に余白を作らない。  
図——A 4 版の青色系方眼紙を用い，刷りあがり横巾を6.5cmまたは14cmを基準とし，その2倍の大きさに墨書きする。表題，その他の注記は下部図外に記載する（別図参照）。  
表——用紙はA 4 版とし，表題は上部に，注記は下部に記載する。  
写真——手札型を基準とし鮮明なものを用い，はぎとりやすい程度に台紙（A 4 版）にはりつける。表題および注記は下部に記載する。
9. カラー印刷および写真などのアート紙使用など，とくに経費を要するものについては，原則として著者の負担とする。
10. 欧文原稿は，著者の負担により，適当な者の欧文校閲を受けたものであること。



仕上り図の標準

① 図画



② 線の太さ 太線 0.25mm  
細線 0.12mm

③ 記号の大きさ 1mm

④ 文字の大きさ 2mm